

【学校教育目標】
 学ぶ喜びと 思いやりにあふれ、たくましく生きる生徒の育成
 ～絆と希望を胸に、夢の実現へ～

【特別活動の目標（学習指導要領）】

集団や社会の形成者としての見方・考え方を働かせ、様々な集団活動に自主的、実践的に取り組み、互いのよさや可能性を發揮しながら集団や自己の生活上の課題を解決することを通して、次のとおり資質・能力を育成することを目指す。

(1) 多様な他者と協働する様々な集団活動の意義や活動を行う上で必要となることについて理解し、行動の仕方を身に付けるようにする。

(2) 集団や自己の生活、人間関係の課題を見だし、解決するために話し合い、合意形成を図ったり、意思決定したりすることができるようにする。

(3) 自主的、実践的な集団活動を通して身に付けたことを生かして、集団や社会における生活及び人間関係をよりよく形成するとともに、人間としての生き方についての考えを深め、自己実現を図ろうとする態度を養う。

学級活動の目標	生徒会活動の目標	学校行事の目標
学級や学校での生活をよりよくするための課題を見だし、解決するために話し合い、合意形成し、役割を分担して協力して実践したり、学級での話し合いを生かして自己の課題の解決及び将来の生き方を描くために意思決定して実践したりすることに、自主的、実践的に取り組むことを通して、第1(上記)の目標に掲げる資質・能力を育成することを目指す。	異年齢の生徒同士で協力し、学校生活の充実と向上を図るための諸問題の解決に向けて、計画を立て役割を分担し、協力して運営することに自主的、実践的に取り組むことを通して、第1(上記)の目標に掲げる資質・能力を育成することを目指す。	全校又は学年の生徒で協力し、よりよい学校生活を築くための体験的な活動を通して、集団への所属感や連帯感を深め、公共の精神を養いながら、第1(上記)の目標に掲げる資質・能力を育成することを目指す。

【生徒の実態】

- ・損得が行動の判断の基準になっている傾向が強い。
- ・自己犠牲や社会貢献の価値観が低い。また、人のために活動するというモチベーションが低い。
- ・仲間と自分の間に対等な関係(リレーション)づくりができない。
- ・自分の言動を周りがどう感じるかを考えないことがある。

【保護者・地域の実態】

- ・共生という価値観に課題。
- ・地域の子どもをともに育てるという意識に課題。

【明海中学校学区共通目標】
 ふるさと明海から世界へ羽ばたくグローバルな人材の育成へ明海の子を明海で育て、そして、ふるさと意識の醸成

【浦安市学校教育推進計画】

- ・主体的な学び(知)
- ・自他を尊重する心(徳)
- ・健やかな体(体)
- ・豊かなかかわり(参画・交流・郷土愛・多文化共生)

【第4期千葉県振興基本計画】

- ・子供たちの自信を育む教育の土台づくり
- ・未来を切り開く「人」の育成
- ・地域全体で子供を育てる体制と全ての人が活躍できる環境づくり

【本年度の特別活動の重点目標(目指す姿)】
豊かな心を持ち、豊かな関係を築ける生徒の育成

各学年の目標			
1学年【自他理解・尊重】	2学年【仲間と協働・認め合い】	3学年【仲間と協働・高め合い・自律】	J組【仲間と協力】
<ul style="list-style-type: none"> ・自他の個性を尊重し、自他の良さを理解する。 ・他者の良さを認める目をもつ。 ・責任感ある言動ができる。 ・話し合い活動で自分の意見を伝えられる。 ・話し合い活動で仲間の意見を聞くことができる。 ・学級や班の係活動、当番活動に責任をもって取り組める。 	<ul style="list-style-type: none"> ・自他の個性を尊重し、自他の良さを理解して、集団生活で生かせる。 ・他者の良さを認める心を育む。 ・他者の気持ちに共感できる。 ・話し合い活動で仲間と協働して折り合いをつけられる。 ・学級や班の係活動、当番活動を協働できる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・集団生活の中で、課題を見つけ、話し合いを経て合意形成を行おうとする。 ・他者の気持ちを汲み、励ますことができる。 ・他者と一緒に課題を解決できる。 ・自治活動を中心とした生活を送ることができる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・仲良く助け合い、集団生活の向上を目指す。 ・他者に感謝の気持ちを伝える。 ・集団の一員としての責任を果たす。 ・進んで係活動、当番活動に取り組むことができる。

	学級活動(★:重点事項)	生徒会活動(★:重点事項)	学校行事(★:重点事項)
指導の方針	学級活動では、朝の会や帰りの会、班活動での話し合い活動をはじめ、係活動、清掃活動、給食等の学校生活における毎日繰り返される活動を通して、互いを理解し、認め合う心の育成を行う。また、様々な活動や体験を通して、自己の生き方について考える。	生徒会活動では、学校や社会の一員として、より良い学校生活づくりと地域との関わりに参画し、課題発見とその解決に努め、生徒、学校、地域が笑顔になれるよう主体的に取り組む態度を育成する。	学校行事では、望ましい人間関係を形成し、集団への所属感や連帯感、達成感を感じ、より良い集団形成を目指す態度を養う。
活動の内容	①一日の目標設定とその振り返り ②班活動の充実 ③構成的グループエンカウンターの実施 ④学活(学級会)の実施 ⑤学級標語づくりと実践、振り返りの実施 ⑥学年、学級レクの実施 ⑦道徳から実践、振り返りの実施	①学校生活の充実(課題発見、解決) ②生徒会と専門委員会、学級の係の連携 ③ボランティア活動等の社会参加 ④学校行事の運営 ⑤異年齢交流(小中の交流、中学校内の交流) ⑥学校標語づくりと実践、振り返りの実施	①儀式的行事の実施 ②人権的行事の実施 ③校外行事・宿泊行事の実施 ④学芸的行事の実施 ⑤健康安全・体育的行事の実施 ⑥勤労生産・奉仕的行事の実施
時間・組織	①朝の会～帰りの会(学級⇒班) ②1日の学校生活(班) ③④⑤⑥学活 ⑦道徳の時間(学級)	・生徒会⇒専門委員会⇒学級の班の係とのつながり ・専門委員会の活動と学級の班の係の連動 ・挨拶運動や募金活動の一般参加 ・生徒会と委員会同士の協働	・入学式、卒業式 ・生徒総会、生徒会選挙 ・校外学習、林間学校、修学旅行 ・新入生歓迎会、体育祭、合唱祭、3年生を送る会 ・小中芸術鑑賞教室 等

評価	よりよい生活を築くための知識・技能	集団や社会の形成者としての思考・判断・表現	主体的に生活や人間関係をよりよくしようとする態度
	多様な他者と協働する様々な集団活動の意義や、活動を行う上で必要となることについて理解している。自己の生活の充実・向上や自己実現に必要な情報及び方法を理解している。よりよい生活を構築するための話し合い活動の進め方、合意形成の図り方などの技法を身につけている。	所属する様々な集団や自己の生活の充実・向上のために、問題を発見し解決方法を話し合い、合意形成を図ったり、意思決定をしたりして実践している。	生活や社会、人間関係をよりよく構築するために、自主的に自己の役割や責任を果たし、多様な他者と協働して実践しようとしている。主体的に人間としての生き方について考えを深め、自己実現を図ろうとする。